

A3 一枚にまとめてください。

	企画提案書（概要版）
① 受託業務に 対する考え 方	1) 取組姿勢 【杉並区阿佐ヶ谷に拠点を置く「街の当事者」としての強み】 本企画は、杉並区が舞台の人気漫画『ひらやすみ』を核に据え、作品の最大の特徴である「日常の豊かさ」「地域のリアルな暮らし」や「食を通じた人とのつながり」など作品の世界観をもとに「街」や「人」全体を杉並区の観光資源として、イベントの開催や情報発信を展開します。「自らも杉並区の一員として、『ひらやすみ』の世界観を借りながら、杉並区のリアルで豊かな暮らしの風景や情報を区内外へ届け、杉並区の魅力周知とファンを増やし、体感・体験重視の姿勢で臨みます。 2) 提案内容の全体像 ●「街」を起点に：阿佐ヶ谷を中心とした実在の『ひらやすみ』スポットを巡る「街あるきイベント（1DAY イベント）」の開催。没入感のあるイラストデジタル MAP とスタンプラリー、地域情報掲載の紙 MAP の併用により、『ひらやすみ』ファンだけでなく、区内外の参加者に作品の世界観を体感させながら街あるき（地域回遊）を促します。参加者による二次的な SNS での情報拡散も期待できます。デジタル MAP は、イベント後も継続運用し、一過性で終わらせない「何度でも来たい」や「住んでみたい」という持続可能な杉並区のファンを醸成します。 ●オレンジページの持つ「編集力」「食のノウハウ」を活用：地域協力者との「地元編集会議」を通じて、中央線エリア以外の隠れた観光資源（商店街・公園・史跡など）を発掘・メディア発信し、区外からの新たな来街者層へのアピールにつなげます。 ●地域とつながり「住みたくなる街」としての認知：杉並区の古民家での親子の「食」体験イベントの情報発信や、商店街での買い出しを伴う料理教室などで、「杉並でのつながりのある暮らし」を疑似体験してもらうことで、単なる『ひらやすみ』の聖地としての観光消費で終わらない、杉並区の濃いファン（関係人口）の醸成およびリピート来街や将来的に、ここに住みたくなるリアルな街としての認知を狙います。
② 提案により 期待される 効果	1) 提案によって期待される効果 本提案では、デジタルMap、地域情報掲載の紙MAP併用による、1 DAY街あるきイベントとデジタルスタンプラリー、地域連携の「食」イベントを通じ、単なる一過性の観光客増加にとどまらず、「経済の区内全域への波及」「継続的な杉並ファンの定着（関係人口の創出）」「地域コミュニティの活性化」という3つの多角的な成果を提供します。 オレンジページnetおよび公式Xでイベント情報を発信・拡散し、親和性のある区外の人にもPRします。 人気の『ひらやすみ』の作品を通して、「街あるき」イベント、親和性の高い「食を通じた温もりの体験」を連続して実施することで、杉並区に暮らす人、区外からの来街者、区内の事業者とも連携し、熱を持って杉並の魅力発信に取り組みます。